

はが木の花

800号 17. 10. 18

第22回はがきびとの集い in 幸田

発行元 444-0124 愛知県額田郡幸田町深溝上池田36 G & G 吉見典生

TEL 0564-62-8144 Fax 0564-62-9696 E-mail papi@tms21.jp

URL: <http://waraiyoga.pw> <http://tms21.jp>

第22回はがきびとの集い in 幸田へいらっしゃい

気が晴れて幸田謳う子照ればがき（きがはれてこうたうたうこてればがき）～～回文だよ



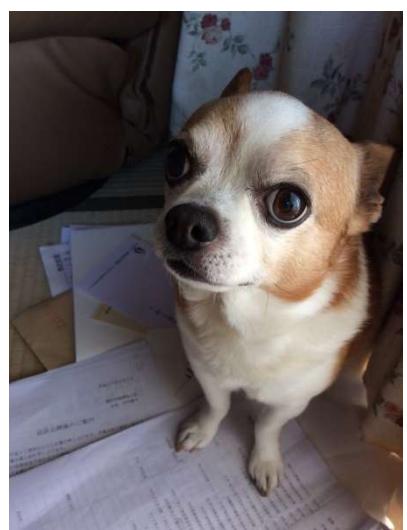
第一部 日時：平成29年11月18日（土）

午後1:30～4:30（12時より受付はじめています。
早くお見えの方のため妻がおにぎり等でもてなしてくれます。
また吉見の孫のピアノ演奏があるかも）

催事：①分間スピーチ。あなたが主役です。（テーマ：「はがきを書いてよかったこと」または自由）②落語「やかん」よしみ亭ひのでさん（立林浩明さんのことです）③ひと筆書き世界一周の旅『家の玄関からジブラルタル海峡まで』吉見典生 ※ちょっと時間を拝借して伊坪さんに「笑い体操」をやってもらいます。**展示：**吉見の10年来の「へた絵へた句の一日一句一画」/『家の玄関からジブラルタル海峡まで』の旅行中、妻へ宛てたはがき（通過国の切手も見られます）**定員：**30名（TMSのスタッフ除く）**参加費：**2,000円
特典：平成30年分の吉見の「へた絵へた句のカレンダー」贈呈

第二部 日時：平成29年11月18日（土）午後5:30～8:30 **場所：**西尾市幡豆町東幡豆 岡田屋（第一部の会場TMSから車を乗り合わせて移動します。）**懇親会：**海の幸の料理で飲食しながら楽しめます／コンサート：井上紗永子ヴァイ

オリン+塚ちゃんのギターでコラボ演奏。そのほか歌って踊ってみんなで楽しみましょう。ゲームなども参加者で考えておいてください。**宿泊：**男女別に大部屋で心行くまでだべりながら眠りに入ります。（中学校の修学旅行のときのように枕の投げ合いはしてもいいです）**翌日の楽しみ：**運が良ければ、散歩中三河湾の美しい日の出が見られます。去年は海岸で日の出を浴びながら笑いヨガをしました。朝食後チェックアウトしてから希望者にはお車乗り合わせで、蒲郡をご案内します。また吉見の家でペロにかわいがってもらうこともできます。うちのかみさんとも遊んでやってください。**参加費：**10,000円（宴会のみの場合は5,000円）**お申込み期限：**第一部、二部ともに11月10日。（10月5日現在第一部のみの方18名、二部も参加の方5名です）**お申込みは** 0564-62-8144（電話）（0564-62-9696（FAX）おはがきまたは<http://waraiyoga.pw>でお申し込みください。



待ってるよ～～

120歳通信 2017年9月号 (617分の60号)

発行元 444-0124 愛知県額田郡幸田町深溝上池田36 G & G 吉見典生

TEL 0564-62-8144 Fax 0564-62-9696

URL www.waraiyoga.pw E-mail papi@tms21.jp

『ガンは心で治す』——「笑い」「祈り」「感謝」は医療効果を高める——年内刊行



2017年9月23, 24日、山梨県北杜市の「ありがとう笑い共和国」で第一回「病は心で治そう会」が開かれました。笑いヨガ仲間が9名参加してくれました。

五風十雨農場は「ありがとう笑い共和国の中にあります。大自然に恵まれたそこは、丁度稻の刈り入れ時でした。ここでわたしたちは、稻の刈り入れをお手伝いしながら『ガンは心で治す』ためのDVDを作成するために黒田ケイナさんにカメラを廻してもらいました。笑いヨガのセッションを録画したり「ありがとうございます」を三十分心を込めて言い続けたり、めっちゃ楽しくギターを弾いて楽しんだりしました。工藤房美さんのように「ありがたい気持ちが降ってきて、まるで雪のように、わたしの心にふんわり積もっていく」心境とはどんなものかを体験しようと、30分「○○さんありがとうございます」

と我说います。自分の見える眼にありがとうございます。自分に対してありがとうございます」と言ってみましょうとわたしは皆さんに言いました。

わたしは木の床にあぐらをかいて始めました。みんなもはじめました。わたしは「お母さんありがとうございます。お父さんありがとうございます」と言いました。五分経過したころ「お兄さんありがとうございます」と言ったとき涙があふれてきました。ガンで死んだ友人たち、仲間たちにも一人ひとり名前を呼んでありがとうございますと言いました。あることで仲違いしている人にもその名前を呼んで「ありがとうございます」と言いました。それがいつわりではなく本心でそれが言えた自分にもありがとうございますと言いました。30分が終わったときは涙と鼻汁で顔はぐちゃぐちゃになってしまいました。工藤房美さんの心境に近づいたような気がします。これを10万回唱えればどんなガンも消滅してしまうのではないかと思いました。

『ガンは心で治す』の付録としてつけるDVDは、抱腹絶倒の笑いと感謝感動で涙があるれ出るほどのものを作成するよう目下ケイナさんにがんばってもらっています。

